

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 30
発行日 平成25年11月5日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:25種251点
鳥類:26種119点
爬虫類:10種38点
(平成25年10月末日現在)

ヘラジカのポロウが亡くなりました



▲ポロウ

平成25年8月7日、国内最後の1頭となっていたシベリアヘラジカのポロウが死亡しました。15歳でした。

鉄の扉をたやすくへこませるほどの脚力を持ちながら、普段は穏やかな瞳と動きが魅力的でした。また、嫌なはずの獣医の治療に対しても比較的協力的で、こちらが助けられました。伝染病予防法により、今後日本にヘラジカが輸入される可能性は低く、直接その姿をお見せできないのは残念ですが、来園者に対して長年ヘラジカという動物の姿、鳴き声、においなどを発信し続けてくれたことに感謝します。また、ポロウをかわいがってくれた皆様、ありがとうございました。

レッサーパンダの赤ちゃん、成長中



← 日中は事務所に設置したモニターで、ライブ映像を公開しています。よく遊び、よく寝ます。

パンダの赤ちゃんはすくすく成長中です。少しずつパンダらしい顔になり、竹もかじりだしました。公開まで、今しばらくお待ちください。

たびたび、このゆめみにゅーすでお知らせしている「最近のコジロー情報」です。

この夏、展示に復帰させる計画だったのですが、2年前に発覚した背骨の疾患によるふらつきと皮膚疾患のため、戻すことができませんでした。寒い期間は症状が悪化する恐れがあるため、まだしばらく病院で隠居となりますが、本人はよく食べ、よく眠り、穏やかに過ごしています。

アカハナグマ・コジローの近況について



↑2013年10月27日撮影

年賀状コンクールのお知らせ

動物園の動物たちに写真・イラスト・メッセージなどを添えた年賀状を送ってください！いただいた年賀状は事務所に展示します。

★募集期間：平成26年1月1日(水)～1月7日(火) 必着！
★展示期間：平成26年1月11日(土)～1月26日(日)
★あて先：〒212-0055 川崎市幸区南加瀬1-2-1 川崎市夢見ヶ崎動物公園 「年賀状コンクール」あて 詳しくはホームページ・市政だより等もご覧ください。



★ピックアップ動物★

アカオヒメシャクケイ

分類:鳥綱 キジ目 ホウカンチョウ科



南アメリカ大陸の乾燥した林などに小さな群れで生息し、果実などを食べます。繁殖期にはつがいを形成し、草の葉などでつくった巣に産卵します。警戒から発する鳴き声が大きく、1羽が鳴き始めると、またたくまに全員での大合唱が始まります。

孵化してすぐ、自力で餌を食べたり走り回ったりするだけでなく、2~3日



もすると、風切羽の伸び始めた翼をばたばたはばたかせながら飛び(跳び)ます。また、ヒナも成鳥も、ほとんど樹上で過ごします。

興奮すると頭部の羽は少しだけ持ち上がり、露出した部分の皮膚は真っ赤になります。

「ヒナを拾わないで」という我々の訴えが少しずつ浸透しつつあるように感じられるようになってきましたが、今回はヒナではない、野鳥救護のお話です。

ヒナではなく、成鳥が持ち込まれる理由はケガ(交通事故、電線やガラスへの衝突、ネコに捕まった…)が多いのですが、時々あるのが、ネズミ糞等の粘着剤に引っかかってしまったスズメなどの小鳥です。粘着剤から逃れようとして暴れたり、保護した人が無理にはがそうとしたことで翼や足を痛めている場合もありますが、なにより全身ベトベトで全く動けず、体力を消耗しているものが少なくありません。まず洗浄しなければなりません、鳥自体が粘着シートからはがれなかったり、我々の手にくっついて洗浄もままならない、ということもあります。

そんな時、役に立つのが小麦粉。小麦粉をまぶすと、粘着力が弱まるのです。パンやうどんの打ち粉と同じ要領です。次に、肝心の粘着剤をはがすのに使うのは油。食用油でもかまいません。これが粘着剤を溶かすのです。そして、油でギトギトになった鳥を洗うのは、台所用中性洗剤です。これらを用い、鳥の残り体力を見極めながら、何度かに分けて処置します。そのため、治療中の現場(流し台)は、さながら普通の家庭のキッチンになるのです。

獣医の日記



★動物たちの主な移動(平成25年8月1日~平成25年10月31日)★

シベリアヘラジカ(♀1死亡)、ミーアキャット(♂1死亡)、インドクジャク(♀1死亡)、アカオヒメシャクケイ(性別不明1繁殖)、オオホンセイインコ(♀1死亡)